

## 令和4年度普及指導活動の外部評価について

### 1 外部評価の目的

本県の普及指導活動の成果等について、外部委員からの客観的な評価や幅広い意見等を受け、その結果を普及指導活動に適時・的確に反映するとともに、次年度以降の普及指導計画の改善につなげる。

### 2 評価項目と評価会の開催

各地域振興局・支庁（事務所）農政普及課等において、普及指導計画に基づく普及指導活動の成果等について評価会を開催した。

主な評価項目	評価会の開催	
	場 所	時 期
○普及指導計画に基づく普及指導活動 ・ 普及指導計画の課題，対象の選定 ・ 活動体制・活動方法 ・ 活動の成果 ・ 波及性と今後の対策	各地域振興局・支庁（事務所）農政普及課等（一部書面開催）	令和4年11月～ 令和5年1月

### 3 外部委員（評価する者）

農業者・地域リーダー，市町村，農業委員会，JAなど，地域農業の動向や農政の展開方法等に対して，十分な理解と知識を有している者を選定（188人）。

### 4 評価結果の概要等

普及指導計画に基づく普及指導活動（46課題）に関する5つの評価項目について評価を受けた。

評価項目	評価結果(割合：%)		
	適 当	概ね適当	要改善
1 課題の設定	83	17	0
2 対象の選定	70	30	0
3 活動体制・活動方法			
(1) 関係機関・団体等との連携	72	28	0
(2) 活動の方法，時期，手段	68	31	1
(3) 専門的な技術・情報の活用	67	32	1
4 活動の成果			
(1) 農業者，地域，産地育成等の効果	56	42	3
(2) 指導対象の課題解決への取組	50	49	1
5 活動の波及性と改善			
(1) 他課題や他農業者，地域への波及性	55	41	3
(2) 今後の対策	55	44	2

※ ラウンドにより，合計が合わない場合がある。

### 5 参考資料

- ・ 令和4年度 普及指導計画に基づく普及指導活動の外部評価課題一覧
- ・ 令和4年度 普及指導計画に基づく普及指導活動の外部評価結果

## 令和4年度 普及指導計画に基づく普及指導活動の外部評価課題一覧

※ 46課題について外部評価を受けた。

所 属 名 ・ 評 価 課 題 名	
鹿児島地域振興局 農林水産部 農政普及課	
3	新規就農者の定着支援
	換気による子牛飼養環境(牛舎気温)の改善
	鹿児島地域の水田の高度利用と持続的に発展するための仕組みづくり
鹿児島地域振興局 農林水産部 農政普及課 日置市駐在	
2	サツマイモ基腐病対策によるさつまいもの生産安定
	地域営農が持続的に発展するための仕組みづくり
	畜産の普及活動について(ICT含む)
南薩地域振興局 農林水産部 農政普及課	
4	南薩の農業を支える担い手の確保・育成
	日本一の茶産地育成
	サツマイモ基腐病対策による畑作営農の再構築
	南薩の特色を生かした戦略的野菜産地の育成
	水田の生産性向上と地域営農の仕組みづくり
南薩地域振興局 農林水産部 農政普及課 指宿市十二町駐在	
4	指宿の未来を担う精鋭農業者の育成
	指宿地域の特色を生かした花き産地の育成
	指宿地域の特色を生かした野菜産地の育成
	サツマイモ基腐病対策による担い手農家の育成
北薩地域振興局 農林水産部 農政普及課	
3	肉用牛繁殖農家におけるICT等を活用した省力化技術の検討
	らっきょうの調整労働力確保体系のかくりつによる攻めの産地づくり
	地域農業をささえる経営体の育成
北薩地域振興局 農林水産部 農政普及課 出水市駐在	
3	次代の地域農業を支える担い手の確保・育成
	土地利用型作物の経営安定と担い手の育成
	地域の特色を活かした野菜産地の育成
北薩地域振興局 農林水産部 農政普及課 さつま町駐在	
3	地域農業発展につながる多様な担い手の確保育成 ～青年農業者・新規就農者の育成～
	地域農業を担う経営体の育成 ～モデル経営体の育成～
	和牛日本一の鹿児島黒牛子牛産地の育成

所属名・評価課題名	
始良・伊佐地域振興局 農林水産部 農政普及課	
4	地域水田フル活用の仕組みづくり
	地域農業の発展を支える担い手の確保・育成
	地域の特性を生かした野菜産地の育成(地域の特性を生かした安心・安全な農畜産物の生産振興)
	需要に対応した特色のある花き経営体の育成
始良・伊佐地域振興局 農林水産部 農政普及課 伊佐市駐在	
2	地域水田の省力化・高度利用等による生産性向上 ー水田農業の省力化推進ー
	地域の農業を支える多様な担い手の育成 ー女性農業者の育成と鳥獣害対策ー
大隅地域振興局 農林水産部 農政普及課	
5	肝属地域の次世代を担う青年農業者の支援
	畑かん水利用面積100haを目指して
	サツマイモ基腐病対策によるさつまいもの生産安定
	温暖な地域特性を生かしたパッションフルーツの生産拡大の支援
	産地の維持発展に向けたキク担い手生産者の育成支援
大隅地域振興局 曾於畑地かんがい農業推進センター 農業普及課	
4	曾於地域の畑かん営農の確立と畑かんの多目的利用
	青年農業者の育成
	戦略的な曾於茶産地づくりにむけて
	パッションフルーツの産地育成
熊毛支庁 農林水産部 農政普及課	
2	種子島地域の農業を支える担い手の育成 ～6時産業化志向農家に対する支援活動～
	安納いもにおけるサツマイモ基腐苗とブランド化
熊毛支庁 屋久島事務所 農林普及課	
2	サツマイモ基腐病対策の確立
	たんかんの生産性向上 ～隔年結果対策と単収向上に向けて～
大島支庁 農林水産部 農政普及課	
3	将来の甘み農業を担う新規就農者の早期経営安定モデル育成
	奄美農業の発展を支える担い手の育成
	地域を支える肉用牛農家の育成
大島支庁 徳之島事務所 農業普及課	
2	トルコギキョウにおける安定生産に向けた取組
	肉用牛農家の規模拡大支援と耕畜連携による自給率向上の取組
大島支庁 沖永良部事務所 農業普及課	
2	地域資源を活かした営農の推進(畑かん営農)
	温暖な気候を生かした園芸産地の育成(花き)
	～「露地栽培」及び「咲八姫」によるえらぶゆり生産振興～

## 令和4年度 普及指導計画に基づく普及指導活動の外部評価結果

※ 評価：評価委員188人の回答割合（評価：A：適当，B：概ね適当，C：要改善）

評価項目	評価結果 (割合：%)			主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や 普及指導計画への反映等	
	A	B	C			
課題の設定	83	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の大事な品目（サツマイモ）であるので、今後も積極的に取り組んで欲しい。</li> <li>・サツマイモ基腐病に対する取組に感謝する。</li> <li>・国際情勢の変化で今まで通りの大規模化，規模拡大路線から地域農業，小規模農家にも目を向けるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も重点課題として取り組む</li> <li>・健全農地確保と新規登録農薬の実証を中心に収量確保を念頭に取り</li> <li>・規模拡大や法人化の支援とともに，大規模農家が不在地域では地域の話し合い活動を通じた担い手育成や集落営農組織の育成に取り組むこととしている。</li> </ul>	
対象の選定	70	30	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年農業者を対象としており適切である。</li> <li>・対象地域は，既に畑かんが整備されたところでも良かったのではないか。</li> <li>・課題は適切だが，高齢者が多い部門への支援指導は厳しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業青年の育成も重ねて，果樹産地育成を実施していく。</li> <li>・普及計画策定時は事業を進める前に水利用の理解促進のために選定した。今後新たな地域を追加して推進する。</li> <li>・高齢者や小規模農家が共同で活用できる取組についても検討したい。</li> </ul>	
活動体制・活動方法	関係機関・団体等との連携	72	28	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大隅加工センターや保健所などの他機関との取り次ぎをしていたおかげで短期間でスムーズな準備ができた。</li> <li>・品種が変わることにより施肥設計も変える必要がないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも関係機関と連携をとりながら，普及活動に取り組んでみたい。</li> <li>・令和5年度で推進する早植えや夏植えの実証ほにおいて，施肥設計，栽培管理体系を含め総合的に検討する</li> </ul>
	活動の方法，時期，	68	31	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輪作による面積確保なの安定収入につながるマニュアルが欲しい。</li> <li>・課題に対して専門的によく考えられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアル作成も視野に健全農地確保や対策の推進を行う。</li> <li>・生産者の高齢化，資材高騰は品目に共通する課題であり，テッポウユリの露地栽培は，他の生産者も取り組める経営品目として魅力がある。</li> </ul>
	専門的な技術・情報の活用	67	32	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・らっきょうの雇用確保は，他産地でも課題であり，全産地で取り組めるようお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の計画で他産地の事例調査を位置づけており，生産者との課題共有や支援体制の充実を検討したい。</li> </ul>

評価項目		評価結果 (割合：%)			主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		A	B	C		
活動の 成果	農業者、 地域、 産地育 成等の 効果	56	42	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サツマイモの早植えや夏植えへの作型は良い提案です。</li> <li>・ R2に基腐病が激発した理由がわからないと今後も繰り返す恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度は早植えや夏植えを推進していく。</li> <li>・ 伝染環は不明な点もあるが、試験研究機関と連携して産地の発生状況を考慮しながら対策を推進する。</li> </ul>
	指導対象の課題解決への取組	50	49	1		
活動の波及性と改善	他農業者や地域への波及性	55	41	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たんかんの1㎡あたりの着果数は作業中はわかりにくい、果実間距離で設定できないか。</li> <li>・ 個人で商品開発に取り組む場合は？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来の目安もあることから、それらを合わせて農家にわかりやすいよう指導する。</li> <li>・ 市町の6次産業化担当部署や熊毛支庁農政普及課に相談して欲しい。</li> </ul>
	今後の対策	55	44	2		
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続的、発展的な取組となるように、引き続きPDCAサイクルに沿って普及活動を展開する。</li> <li>・ 基金事業も活用しながら病害抑制優先するが、今後はコストも検討するが、サトウキビとの輪作を推進していきたい。</li> </ul>	

評価項目		評価結果 (割合：%)			主な意見・提言	意見・提言に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		A	B	C		
活動 の波 及性 と改 善	今後の 対策				<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑かんの情報が伝わってきていない。</li> <li>・スマホなどを利用して情報提供ができるようにしてほしい。</li> <li>・今まで導入してきたICTが最初だけだった。次の普及が重要。</li> <li>・地域を支える農業者組織の活動をもっと周知して欲しい。</li> <li>・新規就農者及び就農から10年くらいの農業者のフォローアップを検討し、農家が自らの課題を認識して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインでの情報伝達は一方通行、栽培講習会もマンネリ化しているので、野菜の技術部会等で検討する。</li> <li>・先進事例等を調査し、水利用が進む情報提供を実施する。</li> <li>・農家による協議会ができ、取り組み農家も増加してきたので、引き続き取組支援を行う。</li> <li>・普及だよりや本県情報誌等を活用しながら周知に努める。</li> <li>・就農5年目までの新規就農者への支援は、重点的に普及課題として取り組む。</li> </ul>

※評価結果はラウンドのため、合計が合わない場合がある。